

総務常任委員会の記録

(防災安全課)

招 集 年 月 日	令和4年9月7日（水）
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	9月 9日（金） 午前11時00分
閉 会	同 上 午前11時30分
出 席 委 員	山下 智恵、関本 豊、村尾 重利、赤松 紀幸、加藤 康幸、 森岡 健治、近藤 由美子
欠 席 委 員	
付議事件説明 のため出席 した者の職氏名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫、 課長 中井 和彦、 課長補佐 山本 和幸
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局長 大谷 吉廣
付 議 事 件	1 認定第1号 令和3年度松野町一般会計歳入歳出決算の認定に ついて ◎歳入 （該当分） ◎歳出 2款 総務費 9款 消防費

山下委員長	ただいまから、防災安全課所管の付託案件の審査を始めます。 認定第1号「令和3年度松野町一般会計歳入歳出決算の認定について」、歳入該当分、歳出2款総務費、9款消防費、防災安全課所管分の審査を行います。 担当課長に説明を求めます。
中井課長	認定第1号 令和3年度 松野町一般会計歳入歳出決算の認定のうち、歳入該当分、歳出2款、総務費該当分、9款消防費について、成果説明書を中心に説明します。 2款総務費、1項総務管理費、3目無線放送施設費の決算額は、7,693,337円となっています。 成果説明書2の防災行政無線中森山中継局撤去工事については、I P告知放送システムへの一本化に伴い、工事請負費1,583,000円を支出しております。 また、3のJアラートI P告知放送システム連携事業については、防災行政無線を通して放送していたJアラートを、I P告知放送と連携させるための機器整備費として3,355,000円、業務委託料として158,400円を支出しており、財源については、緊急防災・減債事業債3,300千円を充当しています。 4のJアラート受信機用管理端末更新事業については、Jアラート受信機用パソコンのオペレーティングシステムサポートが終了したことから、端末更新費用として322,300円を支出しております。 なお、1の防災行政用無線運営状況については、総務課による広報として実施された定時及び臨時放送の集計であり、当課が所管する火災鎮圧等の緊急放送等は含まれておりません。 防災行政無線とI P告知放送は一本化されましたが、緊急時の町民への情報伝達手段として肝要であることから、平時からの定期的な連動訓練をはじめ、保守・点検や総務課による広報放送など、今後も適正な管理を行って参る所存です。

成果説明書 29 ページ、決算書 49～52 ページ、9 目交通安全対策費の決算額は、4, 294, 493 円となっています。

1 の交通安全推進運動については、コロナ禍ではありますが、交通安全の強調期間である春と秋の全国交通安全運動において、鬼北交通安全協会及び町内 3 支部の役員、交通安全指導員並びに老人クラブ連合会役員にご協力いただき、人の輪作戦、街頭指導等を実施し、交通安全の普及・啓発活動を展開しました。

2 の交通安全施設の整備状況については、各部落に設置しております町管理の街路灯を LED 化するなど、18 件の修繕を実施し、それに係る費用 772, 966 円を支出しています。

また、カーブミラーについては、地元から要望のあった 2 件を更新し、それに係る費用 279, 400 円を支出しております。

なお、各部落で整備・管理されております、街路灯補助金については 8 件の申請があり、223, 300 円を交付しています。これらの整備については、部落要望に基づくものを対象として、各区長にも地元調整をいただくなど、適切かつ計画的に対応できたものでございます。

なお、3 の宇和島警察署鬼北交番管内交通事故発生状況では、町内では無事故を達成し、交通死亡事故ゼロ日は、3 月末時点で 2, 414 日となり、現在も継続中であります。引き続き、交通安全の普及・啓発活動に努めて参ります。

4 の市町村交通災害共済の加入状況については、総務課の所管するものです。

5 の鬼北交通安全協会の事業推進に対する支援については、地域の交通安全の啓発、推進を担っていただいております、本町からは、補助金 1, 250, 000 円を交付しています。

6 の高齢者運転免許証自主返納支援事業については、申請者は新規 7 人、更新 33 人の計 40 人で、補助金 10, 710 円を支出しております。

支援内容としましては、町コミュニティバスの乗車料の免除、森の国ぽっぽ温泉の入浴料の一部補助により、交通安全の推進を図るほか、運転免許証返納後の外出支援、生活支援の一助としても取り組みました。

成果説明書 3 1 ページ、決算書 5 1、5 2 ページ、1 1 目諸費では、当課所管分としましては、1 9 節の負担金補助及び交付金のうち、5 の宇和島地区防犯協会に対する補助金として、7 1 0, 0 0 0 円を支出しています。

成果説明書 3 4 ページ、決算書 5 5、5 6 ページ、1 6 目情報通信基盤施設管理費の決算額は、2 9, 8 5 3, 5 9 7 円となっています。

1 の鬼北地域情報通信基盤整備事業の推進については、事業の連携主体である鬼北町に対し、負担金 2 8, 5 3 8, 2 5 9 円を支出しております。その内訳としては、施設の維持管理に係る費用が 1 1, 2 9 5, 3 3 6 円、施設の整備に係る費用が 1 7, 2 4 2, 9 2 3 円となっております。

なお、光送出設備更新工事及び施工管理事業については、過疎対策事業債を充当し事業を実施していますが、半導体不足による機械製作遅延により、令和 4 年度に繰越しております。

そのほか、本事業に係る土地借上料 8 9 8, 7 9 0 円、ケーブルの断線を未然に防ぐための支障木伐採委託料 2 8 2, 3 4 8 円を支出しております。

2 のケーブルテレビ利用者負担額の助成については、町内に在住する保護世帯の経済的負担を軽減するために、放送サービス利用料の減免措置として、1 3 4, 2 0 0 円を支出しております。

成果説明書 8 6 ページ、決算書 9 9、1 0 0 ページ、9 款消防費、1 項消防費、1 目非常備消防費の決算額は、1 6, 2 8 3, 6 2 8 円となっています。

1 の消防団員及びポンプ等の配置状況については、令和 4 年 3 月

末現在で、団員数は団長以下１５４人であり、各部における車両及び機器の配備状況については、記載のとおりです。

また、２の昨年度中の団員異動状況としては、任用が３人、退職が６人でしたが、引き続き、団員確保に取り組んでいるところであります。

３の昨年度の災害発生状況及び消防団員出動状況については、建物火災、その他火災が、立て続けに４件発生しましたが、地元消防団を中心とした初動対応により、最小限の被害に収めることができました。

また、豪雨、台風等により、各種警報が発表された際などには、災害対策本部を計２回設置しており、７月１８日の大雨警報発表の際には、１２人の団員が出動し、土嚢の設置等、地域の安全・安心を守るため、職務に精励いただきました。

成果説明書８７ページ、４の訓練会等主要行事については、新型コロナウイルスの感染拡大により、２月１３日に予定しておりました出初式を中止するなど、活動が大幅に制限されました。しかし、各種訓練会や防火啓発活動では、団員の参集範囲を最小限とし、施設の点検や、基礎的な訓練の実施などにより、消防力の維持に努めました。

また、１２月１７日には、松野中学生を対象とした「未来の消防団加入促進事業」を実施し、消防団の役割や活動内容を紹介するとともに、水消火器による体験学習を実施しました。全国的にも団員確保が大きな課題となっている中、若い世代から消防団活動に興味を持ってもらい、将来の団員確保に繋げていきたいと考えております。

５の各種表彰については、多年に亘り活躍された団員に 対して、消防庁長官表彰をはじめとする、各種の表彰が授与されております。

６の消防防災用ＩＰ無線購入事業については、これまで消防自動車及び幹部職員が携帯していたアナログ無線機をデジタル方式のＩ

P無線機に更新し、3,080,000円支出しております。

成果説明書88ページ、決算書101、102ページ、2目消防施設費の決算額は、333,390円となっています。

1の町消防防災用施設等整備事業費補助金については、(1)の消火栓用ホース等購入事業として、各部落から要望のあったホース格納箱の更新等に係る補助金95,000円を支出しております。(2)の消火栓設置事業については、要望のあった蕨生延行組に対し、補助金200,000円を支出しております。

なお、消防用積載車購入事業については、資機材等の納入に遅延が生じていることから令和4年度に繰越しております。

また、参考資料として、防火水槽等地区別設置状況を取りまとめております。部落要望においても、防火水槽設置や更新の要望が複数の部落より出ていることから、今後は有利な補助事業を活用し、耐震性に優れ、転落の恐れのない有蓋タイプの防火水槽の設置を進めていきたいと考えています。

3目水防費については、0円決算です。

成果説明書は89ページ、決算書101～104ページ、4目災害対策費の決算額は、7,449,071円となっています。

1の備蓄物資の整備については、避難所用備蓄物資として、非常食、保存水のほか、乳幼児を持つご家庭や、高齢者、女性の方が避難しやすい環境を作るため、ミルクや紙おむつ、生理用品といった衛生用品を新たに購入し、690,536円を支出しております。その保管方法としては、消費期限を迎える避難所の備蓄物資をローリングストックすることにより、各避難所において、一定数の備蓄物資を確保していくものです。

2の防災用資機材の整備については、防災拠点施設1階の研修室を一時避難所として利用することから、避難者が横になれるスペースを確保するため、フロア畳マットを購入し373,065円を支出しております。

	3の松野町地域防災計画印刷製本業務については、令和2年度で修正した地域防災計画書200部を印刷製本し、403,700円を支出しております。 次に、令和2年度からの繰越事業であります、4の防災ハザードマップの整備については、広見川の洪水ハザードマップ及び町内の土砂災害ハザードマップを2,500部製本し、町内全戸に配布しております。これに係る委託料2,860,000円を支出しており、財源については、国の社会資本整備総合交付金1,430,000円を充当しております。 5の気象情報提供サービス使用料については、町内3か所に設置してあるシステムの年間使用料1,188,000円を支出しております。 6の公開型GISハザードマップシステム使用料については、ハザードマップをGISの位置情報データに重ね合わせることで、分析等の活用を図るものとして、インターネットに公開するためのシステム使用料198,000円を支出しております。 最後に、参考資料として自主防災組織に属する防災士の人数を掲載しております。部落によって人数のばらつきがありますが、災害時における地域のリーダーとして、より多くの防災士を養成していきたいと考えており、自主防災会長を通じて資格取得に向けた取組を行っているところです。 歳入につきましては、成果説明書の中で併せて説明いたしましたので、省略させていただきます。以上で説明を終わります。よろしく御審議いただき、ご承認賜りますようお願いいたします。
山 下 委 員 長	担当課長の説明が終わりました。 委員からの質問を許します。
近 藤 委 員	細かい質問なんですけど、カーブミラーのところで、新規が2台と聞いたんですけど、安全面において、お掃除をされているかと思うんですけど、誰がどのようにして行ってるか、聞いてみたいなと思っ

中 井 課 長	ています。カーブミラーが曇ってたり、汚れたりしてるの見にくい時があるので、よろしくお願いいたします。 カーブミラーの清掃につきましては、基本的に地元の方が、例えば広見川清掃ですとか、いろいろな集まりがある時に清掃活動していただいております、そのおかげでカーブミラーは良く見れる状態になっておるところでございます。
近 藤 委 員	以前はよくお掃除を見かけてたんですが、近頃あんまり来てないような気がします。みんなボランティアでされてるかと思いますが、なかなか大変な作業なのでどうでしょうか。
中 井 課 長	清掃活動の内容をもう少し説明しますと、今申し上げましたように、清掃活動は、ここ2、3年コロナの影響もございまして、部落内での対応は以前に比べて若干少なくなっているかもしれませんが、交通安全協会の方や交通安全指導員さん、そういった方々にも御協力をいただきながら、清掃活動を行っているところであります。
近 藤 委 員	この頃あんまり見かけてなかったけど、そういう理由で分りました。一応安全面から言っても、継続してもらえるように、よろしくお願いいたします。 もう1点、福祉避難所についてですが、町内で福祉避難所も指定されてますが、なかなか車で行ったりも出来ないし、緊急の時は歩いていくことも出来ない。そういう人たちは、家のほうが安全だと思いますが、そこのあたりの対策は、町や部落のほうで多分考えられてるんじゃないかと思いますが、どうなんでしょうか。
中 井 課 長	まず福祉避難所についてでございますが、現在町内には2ヶ所の福祉避難所がございます。 1つは、古城園、そしてもう1つは、フレンドまつのということで、福祉団地の中にある施設でございますし、必ず開設する避難所でもありませんので、なかなかそちらのほうに避難しようと思っても行けない状況は、本当のところかとは思いますが。 そういったことで、災害の規模などにもよりますが、自宅で待機

	していたほうが安全と思われる場合は、家の中で、しかも１番安全と思われる位置でお休み、避難いただくと。 それでもやっぱり不安があるといったような時には、まず役場に御連絡をいただきまして、対応させていただいたらと思っております。
近 藤 委 員	よく分かりました。
赤 松 委 員	今、近藤委員から質問があった関係なんですが、先般も補正予算で、街路灯のＬＥＤ化を計上されておったわけですが、街路灯、それから今ほど出ましたカーブミラー、それから消火栓も同じですが、３年度の防災安全課の業務計画の中には、新しくこれらの設備の効果的な維持管理の検討を行うとうたわれておりますので、このことを３年、それから４年も、このような業務計画が載せられております。 そういうことで、どのようなことを検討されてきたのか、お聞かせ願いたいと思うわけですが、今ほども話出ておりましたように。新しく設備を整備していくことも大変重要でございますが、その設備をいかに正常に利用活用できるかという管理が一番、これも大変重要でございます。 特に街路灯、カーブミラーも同じですが、樹木の伐採等もしなければ、十分な利用ができないわけでございます。 そういうことで、どのように検討されているかをお聞きしたいと思います。
中 井 課 長	今、御質問がありました内容につきまして、答弁させていただきます。 まず街路灯のＬＥＤ化につきましては、先般の本会議の中で、補正予算で計上させていただきましたが、現在のところ、町内における街路灯は、７８９件ございまして、ＬＥＤ化率としましては、１０％程度となっております。 そういったことから、町で設けている上限４万５千円の補助事業

赤 松 委 員	などを使っていただくよう、積極的に区長会にも提案をさせていただいているところでございます。 また、カーブミラーや消火栓につきましては、先ほど申しましたようにカーブミラーであれば、地元の住民だけではなく、交通安全協会の役員の方や、消火栓であれば消防団の施設点検、そういった時に、管理を依頼しておりまして、調子が悪いとか、そういった連絡が入りました時には、早急に町のほうで確認をさせていただいて、修繕のほうを対処させていただいているところでございます。 今、中井課長の方から説明あったわけでございますが、やはり個々に効果的な維持管理を検討していくということであれば、行政だけではなくて、地域、地元、それから関係団体等が協力をしていただかなければ、なかなか目的が達成出来ないのではないかと思います。ですから、こういうように維持管理を検討されるということであれば、そういう関係者に集まっていただいて、検討していくことが重要ではないかと思います。 今までカーブミラーの件についても質問がありましたが、実は私も昨年、地元の組の交通安全の役員をしておりまして。その時に地域の交通安全支部の方から、「春と秋の交通安全の期間中に、カーブミラー等の清掃もお願いします。」ということを言われておりましたので、私は、役員の時には地元のカーブミラーの清掃をしたということであります。 そういうことから、それぞれカーブミラーは交通安全、それから街路灯は組の役員さんとかいうようなことで、そこら辺は一度、関係者で会を持って、それぞれの役割分担をどのように管理をしていくのがいいのか、検討されたいかがででしょうか。そして、それを引き継いでもらって、やはり切れ目なく管理が正常にできるというようなシステム、仕組みづくりを再度作っていただいたらいいんじゃないかと思います。 そこら辺、御意見を伺いたいと思います。
----------------	--

中 井 課 長	ただいま御意見いただきました点につきましては、先ほども申しましたように、関係する機関それぞれで対応していたところですが、今後につきましては、今いただきました御意見をもとに、町内で、各団体がある程度一堂に集まった会を持つような方向で検討していきたいと考えております。御意見ありがとうございました。
山 下 委 員 長	他にありませんか。 質問が無いようであれば、採決に移ります。 ただいま審査しております、認定第1号について、原案のとおり御承認いただけますか。 (異議なしの声)
山 下 委 員 長	賛成全員です。 したがって、当委員会は、認定第1号「令和3年度松野町一般会計歳入歳出決算の認定について」、歳入該当分、歳出2款総務費、9款消防費、防災安全課所管分については原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。 会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。 令和4年10月18日 松野町議会総務常任委員会委員長 山下 智恵